

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和5年度	事業年度	令和4年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	コミュニティ・スクール事業		整理番号	1313-003		
第2次 総合計画体系	政策目標	2 豊かな心を育むまち	担当部署	学校教育課		
	分野別施策	1 学校教育の充実	所属長	大西 輝明		
	主な施策	3 開かれた、信頼される学校づくり	電話番号	79-3630		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 東みよし町学校運営協議会規則					
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	平成20年度	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input checked="" type="checkbox"/> 11年～20年	<input type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 <small>具体的に誰(なに)を</small>	各学校及び地域住民	対象者	同左
事務事業の目的 <small>どのような状態にしたいのか</small>	保護者や地域の力を学校運営に生かし「地域とともにある学校づくり」を推進するコミュニティ・スクールの充実と発展に努め、地域人材を活用した校務支援・授業支援の促進を図ることにより、一層の教員の負担軽減、地域の意見を反映した学校運営を行う。		
事務事業の内容 <small>どのような方法・手段で 事務事業を行ったか</small>	学校支援隊員による子どもたちへの授業・生活支援、学校施設の清掃等、多岐に渡る力添えを頂いた。各校の学校運営協議会長等からなるコミュニティ・スクール連携協議会において、各校の取組や課題について情報共有するなど、各運営協議会が協力して開かれた学校づくりを推進している。		
事務事業の成果 <small>結果・実績はどうか</small>	各校における学校運営協議会を年3～4回、町全体での連携協議会を年1回開催した。連携協議会では、各校の取組状況や、コミュニティ・スクールを今後継続させていくために必要な事項、学校に支援を頂ける方の募集方法等について情報交換を行うなど、本町におけるコミュニティ・スクールの在り方を検討する良い機会となった。		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	令和3年度		令和4年度(評価対象年度)		令和5年度(見込)	
事業費【(a)～(e)の合計】	325,794	0	351,829	0	633,000	0
財源内訳	国庫支出金(a)					
	県支出金(b)					
	地方債(c)					
	その他(d)					
	うち受益者負担					
	一般財源(e)	325,794		351,829		633,000
	特定財源の名称・金額					
令和4年度 経費の内訳 <small>事務事業に係る経費の詳細</small>	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 9 教育費 項 1 教育総務費 目 3 義務教育振興費 報酬 180,000円 旅費 71,401円 需用費 73,528円 役務費 25,900円 負担金 1,000円					
備考	学校教育課 77,547円 小学校 192,838円 中学校 81,444円					